

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称	令和 5 年度第 1 回ふじみ野市指定管理者選定委員会			
開催日時	令和 5 年 7 月 7 日（金） 開会時刻 午前 9 時 0 0 分 閉会時刻 午前 1 2 時 1 5 分			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎 3 階 A 3 0 2 会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	田嶋 英行	委員	山風呂 敏
	副委員長	金子 明	施設所管課	星野 光
	委員	長岡 勝美	〃	相馬 悠紀
	〃	米村 芳一	〃	東城 裕也
	〃	大久保 昭男	〃	宮崎 光隆
	〃	本橋 直人	〃	大川 一彦
	〃	久保田 尚		
会議の議題	1 選定委員会 (1) 開会 (2) 会議の公開・非公開について (3) 審査対象施設について (4) 選定委員会スケジュールについて (5) 選定審査の方法について (6) 前年度（令和 4 年度）モニタリング・評価 (7) 募集要項及び選定基準の確認（市民交流プラザ及びコスモスホール） (8) 募集要項及び選定基準の確認（サービスセンター自転車駐車場等） (9) その他 (10) 閉会 2 施設見学 (1) 市民交流プラザ (2) サービスセンター自転車駐車場等			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	—			
傍聴人の数	0 人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	(1) 次第			

		(2) 指定管理者審査対象施設一覧 (3) 会議スケジュール (4) ふじみ野市指定管理者選定委員会審査方法について (5) ふじみ野市立市民交流プラザ及びふじみ野市立コスモスホール 資料一式（事前送付） (6) ふじみ野市立サービスセンター自転車駐車場及びふじみ野市自転車駐車場 資料一式（事前送付） (7) 2年目施設 令和4年度モニタリングシート（事前送付）
事務局		総合政策部 経営戦略室
議事の確定	確定年月日	令和5年 7月31日
	記名押印 又は署名	役職名 委員長 田嶋 英行 ㊟

別紙

会議内容

1. 会議の公開・非公開について (事務局)

ふじみ野市審議会等の公開に関する規則の規定に基づき、第1回目は公開、第2回目以降は非公開に該当すると考えられる旨を説明。

⇒異議なし

2. 委員長挨拶 (省略)

3. 審査対象施設

○ふじみ野市立市民交流プラザ及びふじみ野市立コスモスホール

指定期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

○ふじみ野市立サービスセンター自転車駐車場及びふじみ野市自転車駐車場

指定期間：令和6年4月1日～令和12年3月31日（6年間）

4. 選定スケジュールについて 〈概要説明〉(事務局)

5. 選定審査の方法について 〈概要説明〉(事務局)

⇒選定審査の方法等について異議なし

6. 前年度モニタリング・評価

■上福岡駅西口駐車場

〈概要説明〉(市民課)

〈質問事項等〉

○モニタリング評価の仕方の問題になるが、収支の評価について経年の変化を正しく反映できていないのではないかと。過去の推移をみると改善していても、評価が変わっていなかったりする。

⇒結果については、あくまでその年度の評価となっており単年度の収支を見ているため、過年度からの改善の度合いを評価には反映できない形になっている。

○ＩＣカードの導入やＬＥＤ化はいつ頃行われるのか。

⇒精算機の改修を行う予定があるので、その際にＩＣカードの導入を検討している。ＬＥＤ化は導入に係る費用と削減される電気代を比較した上で検討したいと考えている。

○公租公課がゼロになっているが、払っているはずである。このあたりの

実態は。

⇒指定管理者に確認したところ、消費税額については本社の経費として指定管理事業の外で支払いを行っているため計上していないということであった。

○指定管理事業に係る消費税額の算出が手間であるためそのような形をとっているものと思われるが、正しく指定管理事業の収支を出すためにはシートに正しく計上すべきと考える。

○市の環境施策の中でEVなどの環境に優しい新しい技術に関して注目度が増しているところであるが、西口駐車場ではどの程度導入しているのか。

⇒1台である。昨年度は16件程度利用があった。

■介護予防センター

〈概要説明〉（高齢福祉課）

〈質問事項等〉

○シートに未実施であった事業がいくつか載っているが、コロナ以外の要因で未実施となった事業はこの中にあるのか。

⇒腰痛・膝痛予防講座がそうである。これは、利用者から別のニーズがあったことからニーズに合った講座へ変更した。

○利用者評価の項目でHPでの情報提供が「良い」、「やや良い」が5割を超えているとなっているが、これは実際はHPを見ていない人も含まれていることと思う。要望になるが、デジタルデバイドの解消のための取組を進めてほしい。

○自主事業がマイナスになっているが、これはどのような原因によるものか。

⇒コロナによるものが大きい。昨年度から徐々に利用者が戻ってきているので、今後は回復していくと思われる。昨年度の時点で、有料の事業への参加者が伸び悩んだものの、全体としてはかなり利用者が回復してきている。

■子育てふれあい広場

〈概要説明〉（子育て支援課）

〈質問事項等〉

○自主事業をやっているが、収支が0となっている。お金がかからない形でやっているのか。

⇒そのとおり。

○相談件数が落ちているが、これはどのような要因によるものか。

⇒事業をやりながら受けたちょっとした相談についても今までは相談件

- 数としてカウントしていたが、昨年度より指定管理者が交代となり業務中の軽微な相談についてはカウントしなくなったことによるもの。
- 利用者評価の部分で、感想をもらってはいるようだが、満足・やや満足などのサービス評価のようなものがないので、実施してはいいかがか。利用者評価に対する評価を行う上で、良い指標となると思うので検討してほしい。
 - コロナが収まってきて利用者が戻ってきていることと思うが、利用料金の割合が少ないこともあり、収支上は利用者が戻ってきていることを把握しづらいと感じた。利用者が増加しても収支がそれに合わせて良くなっていきづらい構造上の課題があるように見える。
⇒ご指摘のとおりであり、指定管理者もそのように考えている。協議の上で、利用者増加が収支に良い影響を及ぼせるようなんらかの方策を検討していきたい。
 - 指定管理者が交代となり事業の内容に変化はあったのか。
⇒基本的には前の指定管理者の内容を受け継いで業務を行っていたが、この度指定管理者が社会福祉法人から民間の会社に切り替わったことにより、より柔軟なサービスが提供されるようになった。例えば、保護者が買い物した後に来た場合に備えて一時保存用の冷蔵ロッカーを設置したり、電子マネーでの支払いをできるようにする、web 予約をできるようにするなどの新しい取組があった。また、SNS 等を活用した情報発信力が向上した。

7. 協議事項

■市民交流プラザ及びコスモスホール

〈概要説明〉（協働推進課）

〈質問事項等〉

- 現場説明会は、市役所の会議室集合となっているが、その後に各施設へいくのか。
⇒そのとおり。
- 職員体制の記載が変わっているが、ここに記載されている内容と現状の配置で異なる点はあるのか。
⇒ない。
- 事務室のところに何人いればいいかわからない。受付は常時1名いればよいようだが、これは副館長と兼務できるものなのか等が不明瞭。
⇒仕様書記載の最低限の人員以外は提案に任せる形になる。
- ここ数年施設の利用状況が厳しかったものと思う。コロナ前まで回復するまでは時間がかかると思う。指定管理料の積算をするに当たっては、このあたりはどう考慮しているか。

⇒ここ3年間のモニタリングシートを見ると、利用料金の減少に伴って収支が大幅な赤字になっているため、利用状況を加味した上で積算している。また、電気料金等についても昨今の高騰を加味している。

○市民交流プラザ、コスモスホールは地域防災計画に基づき、それぞれ福祉避難所、一時避難所となっている。仕様書できちんとその旨を記載し、協定の締結について定めていただき感謝する。

○令和4年度を見ると、利用人数は増えているのに利用件数は減っているがこれはどのような要因によるものなのか。また、利用料金も減っている。この施設のシートを経年で見たときにどこに力を入れて今後の運営を行っていくか見えづらい印象を受けた。

⇒利用人数に関しては、令和4年度から利用人数の制限を解除したことにより、件数は減っているものの増加という形になっている。コロナの影響で事業の制限があり、すぐ事業を従来どおりのペースに戻すということも難しいとは思いますが、自主事業をきちんと揃えて市民の方にご満足いただける施設を今後目指したいと考えている。

○根本的な部分に立ち返って考えると指定管理者制度の導入はコストの削減、行政のスリム化というのが目的としてあると思う。今まで長期に渡って指定管理者制度で運営する中でどの程度達成されたと考えるか。また、現在利用者数としてシートに記載されているが、実際は重複して利用している者も多いと思う。実際に利用されている市民がどれくらいいるのか、新規利用者は増えているのか、そこが重要と考える。さらに、指定管理者が行っている事業に関して、市として行っていきたい事業展開と相違はないか。

⇒コストについてはある程度人件費の増加などやむを得ないものがある。質の良い事業を展開するための最低限のコストは指定管理者に対して支出していくべきと考えている。また、実利用者がどれくらいいるかという問題については、どの施設もそうだと思うが、人数は延べ人数でとっており、実人数を把握するのは難しい。実人数を把握することは大事であると考えてるので、今後調整したいと思う。指定管理者の行う事業と市のニーズが合っているかという点については、高齢化が進展する中で高齢者が集う機会となるイベントが多く開催されており、ある程度マッチしていると考えてるが、若い方が参加できる・したくなるイベントを開催する必要があると考えるため、指定管理者と協議して若年層向けのイベントを展開していきたい。なお、事業の実施にあたっては市の担当部署も連携の上でFメールなどの媒体も活用して広報している。

○若い方を引き付けるためのイベントに関して、何か現指定管理者の取組はあるのか。

⇒小学生向けの空手教室や打ち水大作戦など、こども向けのイベントを実施予定である。

○大学生くらいの年齢のユース層に向けたイベント展開はあるのか。

⇒現在は特にはない。参加者があまり集まらない実状もあるため中々企画しづらいのが現状である。

8. 協議事項

■サービスセンター自転車駐車場等

〈概要説明〉（道路課）

〈質問事項等〉

○コロナの影響があって定期利用が減っていると思うが、一時利用はどうか。

⇒一時利用は特に影響がない。

○利用料金を今回から上げるということだが、その経緯は。

⇒特に上福岡地域において利用料金が安く民業圧迫になっているという意見があった。民間事業者との調整や収支改善の観点から上げることとした。

○利用者評価を3から4に修正したようだが、この要因は。

⇒利用者から悪い評価がなかったため。その点を評価した。

○過去のモニタリングシートを見ると、アンケート結果が載っており、4にする根拠とすることもできると思うが、令和4年度のシートにはそのような記載がないので今後は載せたほうが良いと考える。また、仕様書の4ページで一時利用の台数や自転車やバイクの台数について最低台数などの記載がない。モニタリングシートなどを参考に提案するように記載を追加してはどうか。

⇒検討して、適宜修正したい。

○仕様書の6ページの変動納付金に関して、前回募集時は何パーセントを最低ラインとし、実際には何パーセントとして提案があったのか教えていただきたい。

⇒仕様書では50パーセント以上とし、提案段階では70パーセントで提案があった。

○令和4年度のモニタリングシートを見ると収支がマイナス700万円、令和3年度はマイナス900万円、令和2年度がマイナス1,600万円程度となっている。赤字がこれだけ続いている中で、利用料金の改定や駐車場を1つ廃止することでこの収支がどの程度まで改善すると見込んでいるのか。

⇒690万円程度の黒字となることを想定している。これの半分を変動納付金として市に収めていただく計算である。

○過去の収支を見た限りだと指定管理料を入れることも検討しないといけないのではないかと考えられる。果たしてこの収支で応募者が来るのか。

⇒我々としてもそのような懸念があり、令和４年度に調査を実施して検討をしてきた。固定納付金は自転車駐車場の地代分を賄うものであるため、削減が難しい。その中でどのような工夫をすれば、収支が改善されるか民間の事業者へのヒアリングも行った上で今回の仕様書は作成している。また、現在上福岡駅エリアは定期利用はほぼ満車の状態にあり、ふじみ野エリアでは４０パーセント程度の利用率である。そのため、今回１つ駐車場を廃止しているという経緯もある。

○仕様書の別紙６に稼働率を載せてほしい。現在どれくらいの稼働率でこの収入なのかを示したほうが分かりやすい。

⇒検討して、可能であれば追記したい。

○修繕費の基準が１件５０万円になっているが、現在償却期間の影響等を考慮し、他施設では３０万円としている。３０万円にはできないのか。

⇒３０万円にしたいと思う。

９．閉会